

10. 新エネルギーの評価

項目		太陽光発電		風力発電
		業務用	住宅用	
評価	利点	クリーン 枯渇のおそれがない		クリーン 枯渇のおそれがない
	欠点	エネルギー密度が低い 自然条件に左右されるなど不安定		エネルギー密度が低い 自然条件に左右されるなど不安定
	実用分野	経済性が改善されれば小規模電源として有望		大規模化によるスケールメリットもあり、事業化、商業化が進みつつある。
実績(1998年度)		13.3万kW		3.8万kW
目標(2010年度)		500万kW		30万kW
1) 代替する基には	投資額	11兆円	8兆円	1.1兆円
	2) 敷地面積	山手線の内側面積の1.5倍	愛知県の全世帯数と同じ程度	琵琶湖の面積と同程度
		約92km ²	262万世帯	約700km ²
	基数	37308基	262万基	4429基
	設備容量	250 kW/基	3.5 kW/基	1000 kW/基
	利用率	12%	12%	25%
	年間発電量	26万 kWh/基	0.37 kWh/基	219万 kWh/基
	設備投資額	3億円/基	300万円/基	2.5億円/基

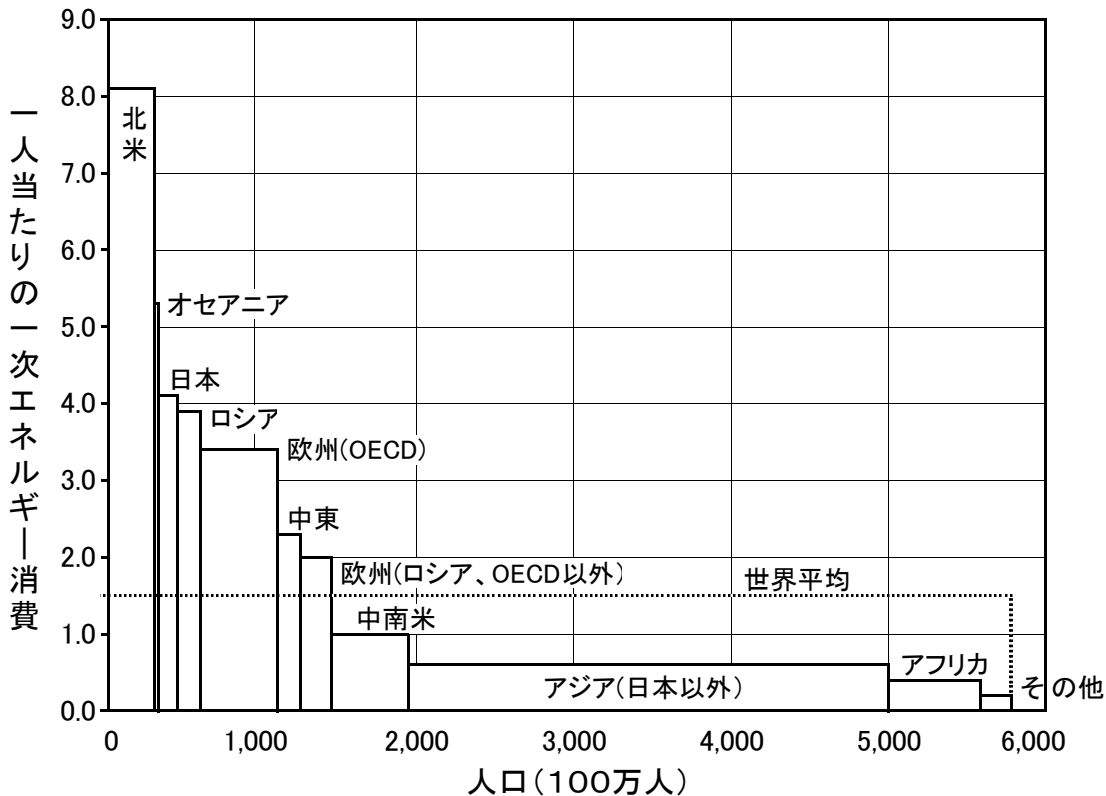
1) 138万kW級の原子力発電所、稼働率80%、設備投資額3,600億円/基、年間発電量97億kWhを仮定。

2) 太陽光発電は1kW/10m²、風力発電は1基/0.16km²と仮定。

11. 世界の地域別エネルギー消費量(1997年)

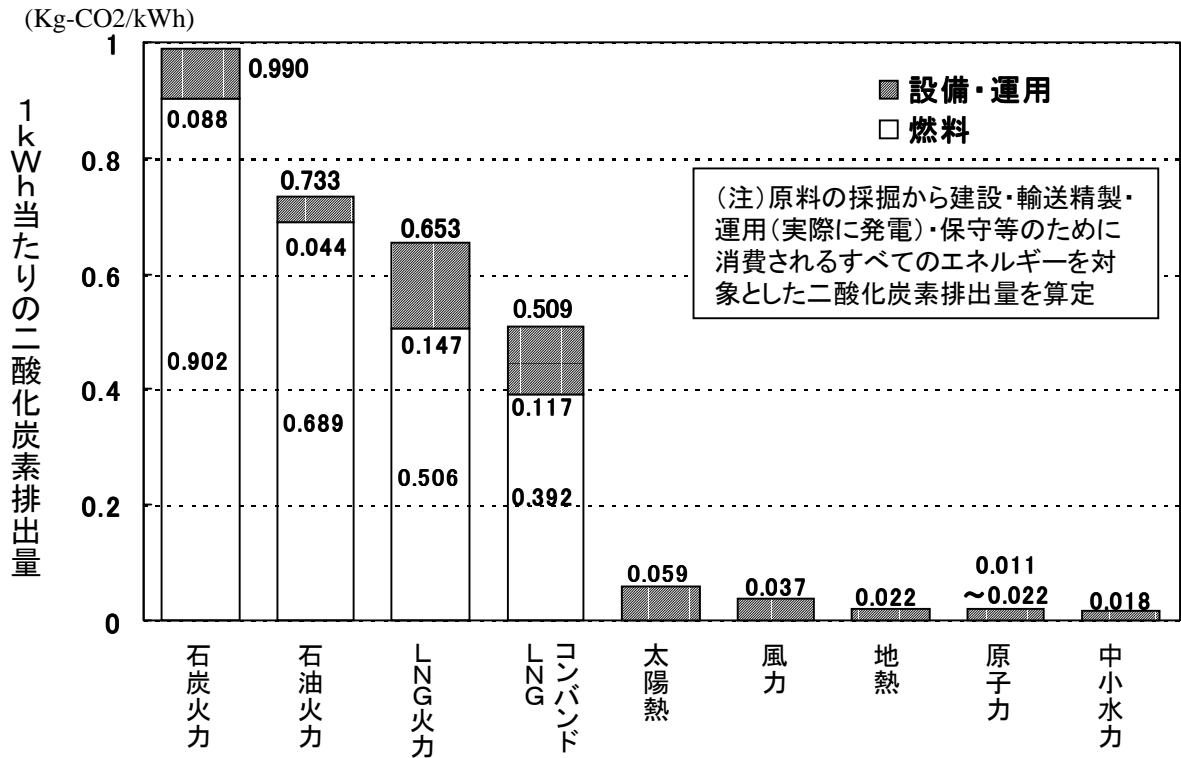
(石油換算・トン)

[棒グラフの面積は、一次エネルギー消費量を表す]



出典: (財)省エネルギーセンター「エネルギー・経済統計要覧2000」より作成

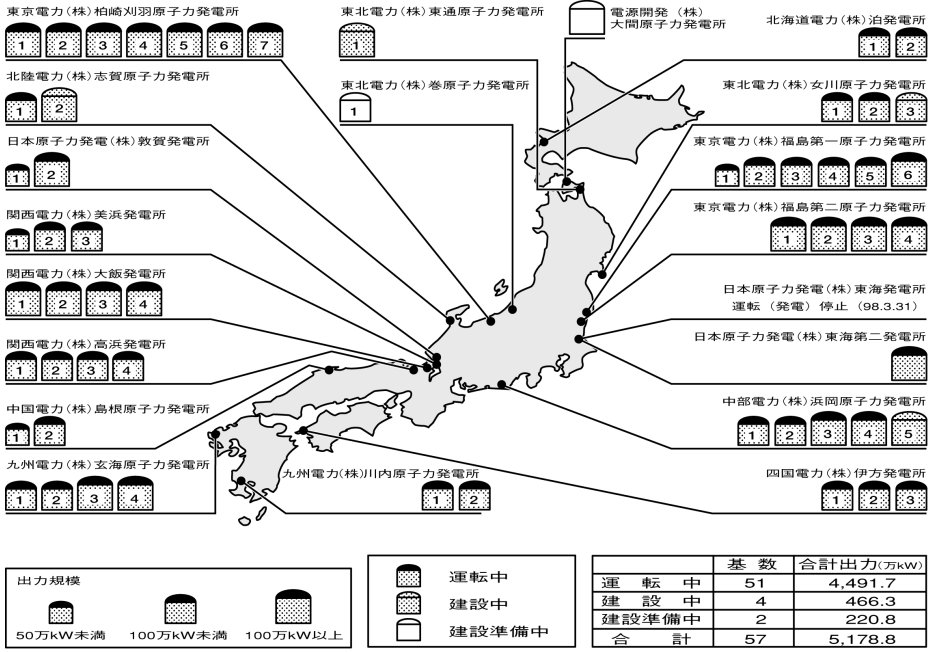
12. 各種電源のCO₂排出量の比較



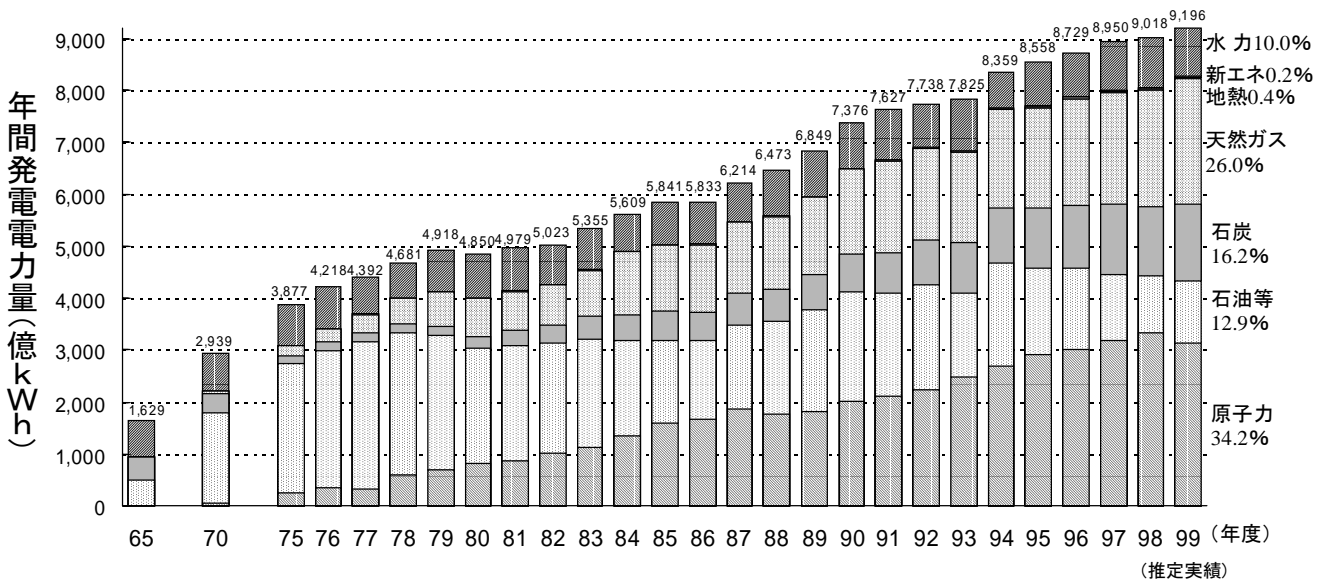
出典: 電力中央研究所報告書より作成

13. 日本の原子力発電所の運転・建設状況

(商業用・2000年5月現在)



14. 日本の年間発電電力量と燃料種別の推移(一般電気事業用)



(注) 新エネは、廃棄物、太陽光、及び風力の合計。LNGには天然ガス、燃料電池及びメタノールを含む。石油等には、LPG、その他ガス、及び歴青質を含む。

出典: 通商産業省資料

15. 原子燃料サイクルのウランの流れ

